

# 金剛地区まちづくり会議

## 寺池公園等を活かしたまちづくりの会 活動報告

R6.7.31

寺池公園等を活かしたまちづくりの会

会長 友田 研也

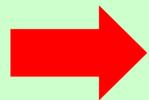
# 「寺池公園等を活かしたまちづくりの会」(R4.5.29)

## 寺池公園等を活かしたまちづくりの会

- 目的：地域住民、地域活動団体等が一体となって、金剛地区を印象付ける  
都市空間の魅力を高める活動を、漸進的・継続的に進めることによる、
  - ① コミュニティの醸成
  - ② まちづくり担い手の参画促進
  - ③ 快適で居心地のよい空間と交流機会の創出 に向け、先ずは、寺池公園で取組み、参加の輪を広げるとともに、実績を示し、ひいては、金剛地区全体の魅力・文化の向上、金剛地区の再生に繋げていくことを目的とする。

## 令和5年度 取組み方針

- 水辺と里山の魅力を活かし、誰もが快適に過ごせる居場所を創出する。
- 高齢者をはじめ多様な世代の参画・外出機会を増やす。
- 寺池公園の魅力を発信し、共に取り組むファンを増やし、  
コミュニティ形成の核としていく。



① 水辺が眺められる空間づくり

② プレーパーク & パラソルカフェ

## 令和5年度 取り組み状況

R5. 6. 4 (日) 水辺が眺められる空間づくり  
(水利組合と地域の共同による伐木・除草)

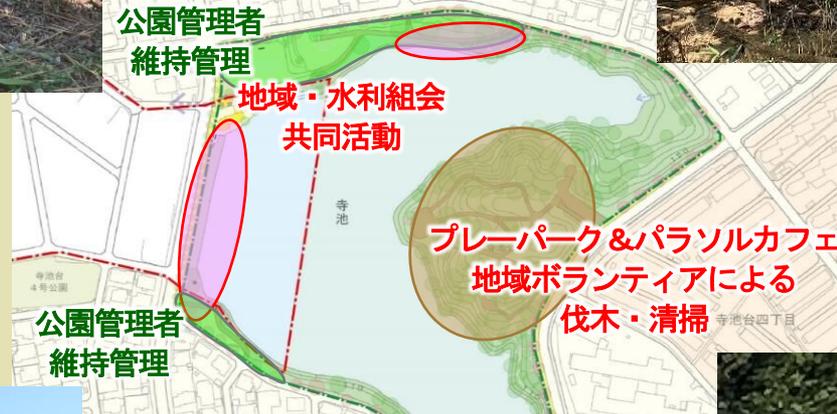
R5. 7.23 (日) 第2回プレーパーク&パラソルカフェの開催

R5. 9.10 (日) 水辺が眺められる空間づくり  
(水利組合と地域の共同による伐木・除草)

R5.11. 5 (日) 第3回プレーパーク&パラソルカフェの開催

R6. 3.17 (日) 水辺が眺められる空間づくり  
(水利組合と地域の共同による伐木・除草)

# 水利組合と地域との共同除草・伐木活動(R5. 9. 10)



# TERAIKE PLAYPARK & PARASOL CAFE

R5.11.5 第3回開催

共に取組む共仲間、関係人口を増やしていく



金剛地区再生 寺池公園等を活かしたまちづくりの会

■R5ボランティアスタッフ登録者数 83名、1社

- 寺池公園等を活かしたまちづくりの会 19名
- プレーパーク&パラソルカフェ参画意向者 37名
- 大阪大谷大学協力 14名
- 阪南大学協力 6名
- 高校生等協力 7名
- 民間事業者協力 1社

■参加者 317名

91世帯、  
子供145名、保護者122名、  
ボランティアスタッフ50名





キャンプカフェ・パラソルカフェ  
(阪南大学生)



受付、応急対応、売店



ブランコ・木登り・ターザンロープ

## 子どもも保護者もスタッフも みんなが主役



工作・休憩エリア  
(大阪大谷大学生)



ハンモック



ジップライン

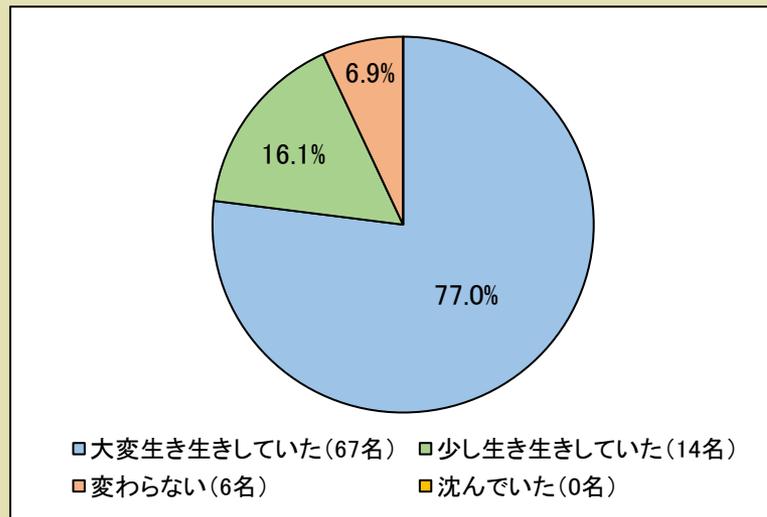
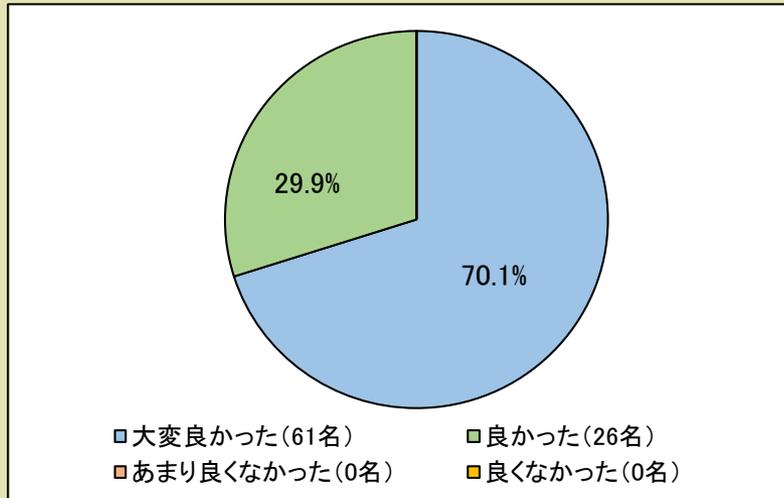
スラックライン



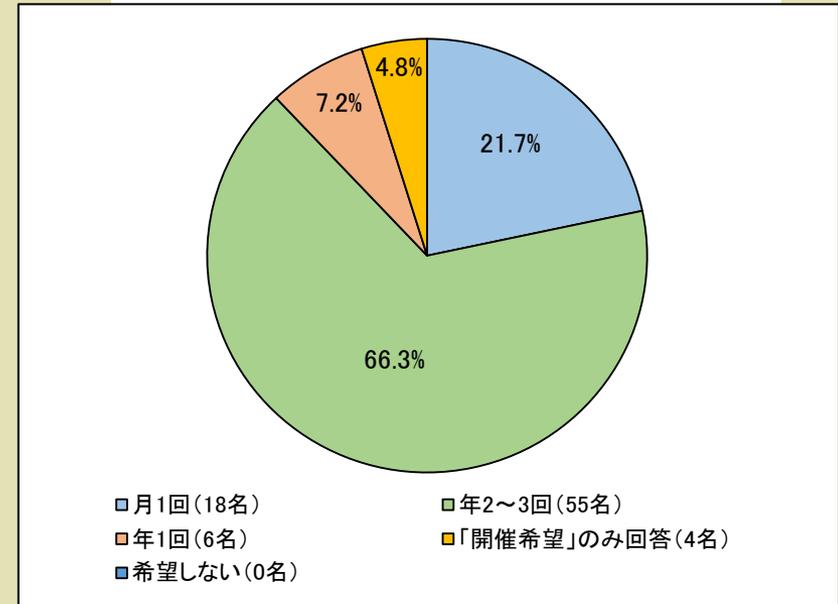
# 参加者へのアンケート調査

満足度	: 大変良かった・良かった	100%
開催頻度	: 月1回、年2~3回開催希望、開催希望	100%
子供の表情	: 生き生きしていた、少しいきいきしていた	93%

## 活動への満足度



## イベントの開催頻度



## 活動中の子どもの表情

# 金剛地区の再生

## 地域コミュニティの形成 & 既存都市空間のリノベーション

多様な地域の方々の意見や意向を束ね、これを力としながら、既存の都市基盤を活かして再生していく。

地域主導のもと協働により魅力的な空間を斬新的に整備することで“強いコミュニティ”を形成する。

コミュニティの力により地域の魅力創造、シビックプライドの醸成を図り、若者居住の促進につなげて行く。

地域コミュニティの形成

### STEP-3 空間の再構築・常態化

適切なハード整備を見出し（ハーフメイドで良い）  
地域と行政の連携・役割分担のもと、  
魅力ある空間を漸進的に創出していく

地域の主体性を引き出しながら行政と連携して推進できる仕組みを整える  
⇒寺池公園管理事業者と地域活動のタイアップ

### STEP-2 担い手を増やし、発信する

寺池公園の良さを知ってもらう、実体験してもらう  
担い手を増やす、仲間を増やす  
寺池公園の魅力を発信する

#### プレーパーク&パラソルカフェ

#### 目的

- 誰もが快適に過ごせる居場所を創出する
- 多様な世代の参画・外出機会を増やす
- 寺池公園の魅力を発信し、ファンを増やし、コミュニティ形成の核としていく

#### ボランティアスタッフ

地域住民、地域活動団体、学生、  
民間事業者等 83名登録

### STEP-1 地域活動の萌芽

- 交流会・親睦会
- ラジオ体操
- 竹灯籠まつり
- 健康ウォーキング
- 水辺が眺められる空間づくり

地域主導・魅力的な空間の漸進的整備  
↓  
強いコミュニティの形成

公民による  
総合調整  
推進体制を構築

若者居住の促進  
シビックプライドの醸成  
↓  
コミュニティによる地域の魅力創造

既存都市空間のリノベーション(都市魅力の創出)

# ニュータウン再生に当たっての抜本的課題

1. 開発された時点で**街が固定化**し、時代に応じた変化が出来ていないのではないか  
⇒時代に応じて適宜変化していくことが重要で、変化していく仕組みを街に組み込んでいく。

2. 選択されるに値するライフサイクル上の**魅力・夢**があるか  
～モノ（住宅双六）からヒト（コミュニティ）へ～

⇒コミュニティの成熟により次世代生活像（生き甲斐と豊かな暮らし）を提供する。

- ・地域の**多様な世代**の人たちが、各々の学びの速度に合わせて“好きな活動”に取り組んでいる。
- ・働きながら安心して子育てができる環境が整っている。（働く場＋地域ぐるみの保育・子育て）
- ・健康に生き生きと暮らす**高齢者**の暮らしを実感できる。（健康シニアライフスタイル）

3. 居住するに値する**高度な都市機能・サービス**を備えているか

⇒**鉄道駅**を中心にした**広域生活圏**の形成と**ミクストユース**を促進し都市機能の充実を図る。

- ・**鉄道駅**を中心に高度な都市機能・サービスが提供されている。
- ・ふれあい大通り沿道は、商業・オフィス機能を備えた住宅が並び、歩くことを楽しめる。
- ・公共スペースには多様な活動が行える場所が備わっている。
- ・誰もが**アクセス可能**となる便利な移動手段が整っている。

公・民・地域の「三すくみ」問題

4. 日常的に「**心豊かに暮らせる**」環境が整ってるか

⇒居心地がよく、**安心・健康・快適**に暮らせる空間、住まい、居場所を身近に整える。

- ・寺池公園の水辺・里山を活かした**くつろぎ・回遊空間**が地域の**アイデンティティ**として育っている。
- ・地区全域にわたり、安全・安心・快適に歩ける**歩行者ネットワーク空間**、**施設**が整っている。
- ・多様な世帯が暮らせる**多様な住宅**が提供されている。
- ・空き家、空き室を活用した**居場所**が、生活の身近な所に整っている。
- ・地域の**安全性**を地域自らで高めていくという意識が高く、自治会単位での防災活動が活発である。
- ・**脱炭素**（再生エネルギーの導入、エネルギー効率性、リサイクル、再利用等）に地域で取り組んでいる。

### 1. 活動の目的（R4～R6）

- 寺池公園において、水辺を活かした空間整備を重ねながら、寺池公園を水辺とみどりが眺望でき、**地元で親しまれる空間**へと改善していく。
- 先ず、多世代の多くの地区住民等の参加を募りながら、地区住民等が主体となって「**水辺が眺められる空間づくり**」や「**プレーパーク&パラソルカフェ**」等の取り組みを進める。
- 併せて、地域活動・コミュニティ形成の象徴として、寺池公園の魅力を**発信**することにより、**参画・連携の仲間を増やし、継続的に育んでいく仕組み**の構築へとつなげていく。

### 2. 令和6年度 活動内容

寺池公園において、地区住民、地域活動団体が中心となって、市や寺ヶ池水利組合と連携の下、水辺が眺められる空間づくりを段階的・計画的に進めるとともに、プレーパーク&パラソルカフェ等を開催し、寺池公園における取組みと魅力を広く発信・PRし、**本活動の理解者・参加者を増やしていく。**

## 2-1 水辺が眺められる空間づくり

- 水辺が眺められる空間づくりに向けた除草・伐木活動を継続的に実施し、水辺を感じながら周回できる公園へと改善していく。
- 市の事業として、寺池公園の伐木・除草の予算が確保された。地域の意向を市並びに請負事業者へ伝え、水辺が眺められる空間づくりの飛躍的拡大を図るとともに、地域住民等との連携の機会を設け、地域住民の達成感を醸成する。
- プレーパーク&パラソルカフェのスタッフ（約83名）をはじめ、自治会との連携を深め、地域の方々の広く多くの参加を募り、一斉の「水辺が眺められる空間づくり（除草・伐木活動）」を実施する。
- 金剛地区の桜祭りにおいて里山エリアへも立ち寄りやすくするため、併せて『桜フェスタ』を企画する。

## 2-2 プレーパーク&パラソルカフェ等の開催

- プレーパーク&パラソルカフェを秋と冬の2回開催する。
- これに先立ち、プレーパーク&パラソルカフェの設営・運営研修会の日を別途設ける。また、応急対応技術の習得に向けて消防署講習会を企画する。

## 2-3 寺池公園における取組みと魅力の発信・PR

- 寺池公園における活動状況、成果、案内などをリーフレット、HP等により広く発信し、その魅力を知っていただくことで、ファンや仲間を増やしていく。

## 2-4 継続性を確保するための仕組みづくり

- 継続性を確保するため、今後の運営の在り方・体制・資金について、地域並びに市と協議していく。このための準備として、今年度の成果報告に併せ、今後の取組みの在り方について、学識経験者による検討や基調講演を企画していく。